

看護倫理

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 塚本容子 yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp
福井純子(看護福祉学部) 内ヶ島伸也(看護福祉学部) 三津橋梨絵(看護福祉学部)
中安隆志(看護福祉学部) 山田拓(看護福祉学部)

【概要】

変化し続ける社会環境の中で看護師の倫理的役割をディスカッションし、看護における倫理的課題と専門職としての個人の責務を理解できることを目的としている。

【学修目標】

看護倫理とは何かを理解し、倫理的意思決定のプロセスに沿って事例を検討することができる。また、実際に臨床で起きている倫理的問題に関して造詣を深めることができる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

塚本容子(看護師) 福井純子(看護師) 内ヶ島伸也(看護師) 三津橋梨絵(看護師)
中安隆志(看護師) 山田拓(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、臨床現場で起こった倫理的課題を有する事例を用いながら、看護師を果たす役割について学生に教授する。